第１学年

単元名　「みの　まわりの　いきもの」

実践のポイント（工夫）

・

実践内容

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 過程 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価 |
| は  じ  め  な  か  お  わ  り | ○学習の見通しを持たせる  〇自分の好きな身のまわりの生き物を思い出させる。    〇生き物について経験した  ことをノートに書く。      〇身のまわりの生き物について経験したことを発表し合う。  〇次回の予告 | ・生活科での観察カードの学習を思い出させ、国語の学習であることを意識させるために、「よく見て書くこと」とはどういうことなのかを問いかけ、考えながら学習を進めていくことを伝える。  ・板書しながら、できるだけ多くの生き物を思い出させる。  ・生き物がどんな様子をしているかに視点を向けさせる。  （色や形、大きさ、うごき、気がついたことなど）  ・児童の気づきや思いを大切にし、「書きたい」という意欲を持たせるようにしたい。  ・発表を聞き、友達が伝えたい生き物をイメージしながら聞く。  ・作文を書くために、より詳しく書けてたところ、次回の授業で確認していくことを伝える。 | 【書く】  身のまわりにいる生き物について考え、経験したこと書くことができる。 |